

2020年度は以下の日程で開館します。日曜・祝日及び展示替え期間中(カレンダーの無色・白丸の日)は休館です。

4 April	2020年	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2021年	2 February	3 March
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4	1 2	1 2 3 4 5 6	1	1 2 3 4	1	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2	1 2	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6
5 6 7 8 9 10 11	3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13	7	5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8	6 7 8 9 10 11 12	4 5 6 7 8 9 10	8 9 10 11 12 13 14	6 7 8 9 10 11 12	3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13	7 8 9 10 11 12 13	7 8 9 10 11 12 13
12 13 14 15 16 17 18	10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20	14	12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15	13 14 15 16 17 18 19	11 12 13 14 15 16 17	15 16 17 18 19 20 21	13 14 15 16 17 18 19	10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20	14 15 16 17 18 19 20	14 15 16 17 18 19 20
19 20 21 22 23 24 25	17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27	21	19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22	20 21 22 23 24 25 26	18 19 20 21 22 23 24	22 23 24 25 26 27 28	20 21 22 23 24 25 26	17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27	21 22 23 24 25 26 27	21 22 23 24 25 26 27
26 27 28 29 30	24 25 26 27 28 29 30	28 29 30	28	26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29	27 28 29 30	25 26 27 28 29 30 31	29 30	27 28 29 30 31	24 25 26 27 28 29 30	28	28 29 30 31	28 29 30 31
	31				30 31					31			

佐賀県唯一の国宝と鍋島家の名宝

5月25日(2020年) 7月25日(2020年)

※7月23日(木・祝)、24日(金・祝)は開館
東京と佐賀の地で守り抜かれてきた鍋島家伝来品が14代鍋島直正様より財団へ寄贈されて今年で20年を迎えました。これを機に本展では、佐賀県内唯一の国宝「催馬楽譜」をはじめ、国・県から重要文化財の指定を受けた「名宝」をご紹介します。この20年間で、新たに9件(17点)が佐賀県重要文化財に指定され、そのうち佐賀の伝統工芸として今に引き継がれる鍋島焼の開発を物語る、江戸時代初期の磁器2件(4点)は国重要文化財に昇格しました。今後、佐賀の地で伝えられていく旧藩主家の「名宝」のもつ魅力をご堪能下さい。



元禄の殿様 一文人大名 鍋島綱茂

8月24日(2020年) 10月31日(2020年)

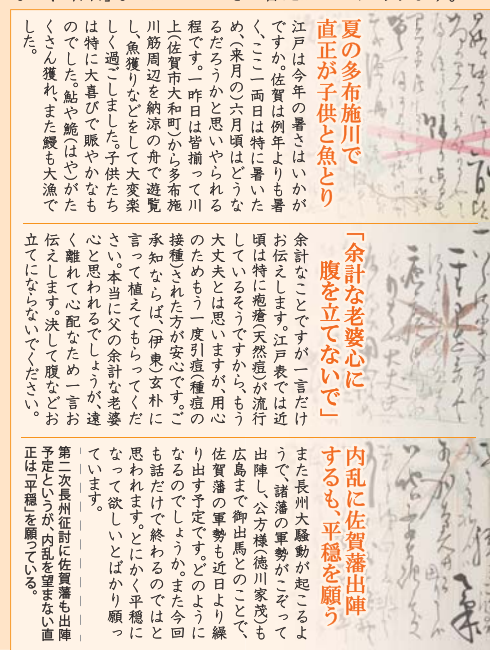
元禄の時代(1688~1704)には、平和な世相を背景に、様々な文化が花開き、文教による政治が行われました。この時期の佐賀藩主は、2代鍋島光茂公と3代綱茂公親子です。光茂公は佐賀城内に孔子を祀る聖堂を創建し、綱茂公は庭園「観願荘(かんいそう)」の中にこれを移すなど文教を振興しました。本展は、綱茂公自筆の絵画、和歌や漢詩の書、綱茂公所持と伝わる能装束、また聖堂にあった扁額や聖像などを通じ、歴代藩主の中で屈指の「文人大名」といえる綱茂公が力を注いだ文事の世界をご紹介します展覧会です。



愛娘への手紙 一「名君」鍋島直正の素顔

11月24日(2020年) 1月23日(2021年)

10代藩主鍋島直正公は長女貢姫(みつひめ)と13年間ほど手紙を交わし続けました。本展は、父が送った196通をまとめた資料集『愛娘への手紙』出版の記念展です。直正公が自らの言葉を自筆で綴った手紙からは、娘の心身を案じる親心などの「素顔」が見えてきます。直正公は「領内の者は、皆、子の如し」と述べたほど領民想いの藩主で、時に「名君」と称えられます。藩主として領民(「子」)を、父として愛娘をどう思ったのか。なぜ、「名君」なのか? 一その答えがここにあります。



鍋島家の雛祭り 2月11日(2021年) 3月31日(2021年)



明治から昭和初期の侯爵鍋島家歴代夫人が愛しんだおひなさまをご紹介します恒例の雛祭り展。古写真をもとに往時の雛祭りにならった幅6mと5mの大雛壇は、豪華で品格を兼ね備えています。大雛壇の迫力と御人形の愛らしさ、細やかな雛道具の世界を存分にご堪能ください。



「鍋島家の雛祭り」展 期間中の週末のイベント

期間中の土曜・日曜・祝日には、2階にて各種イベントを開催。お抹茶席やお箏の演奏、茶花展示などをお楽しみいただけます。伝統のおひなさまと一緒に、和の文化に親しみ寛ぎのひとときをお過ごしください。



佐賀城下ひなまつり 毎年、当館と佐賀市歴史民俗館を中心に「佐賀城下ひなまつり」が開催され、城下町全体がおひなさまで彩られます。歴史民俗館では、佐賀の伝統工芸である佐賀錦や鍋島緞通、佐賀藩の袴の文様「鍋島小紋」を用いたおひなさまなどを見ることが出来ます。また、周辺の博物館やお店などでも関連の展示やイベントなどをお楽しみいただけます。